



CLOVER

発行 地域医療を育てる会
代表 藤本晴枝
<http://www.geocities.jp/haruefjmt/>
第4号 平成17年9月5日発行
東金市東金1142 「東金の家」内
TEL: 090-7634-7175

余命三ヶ月。 自宅で過ごすのが...

東金市在住のTさんの実父が、癌だとわかったのは今年の二月だった。そのときの担当医師の説明では、高齢であることから癌に対する積極的な治療が行えないとのこと。ご本人は前年末から認知症の症状も出ていたので、家族は遠方にくれてしまった。その後東金病院を紹介され、転入院したのが三月。当時のことをTさんはこう語った。



生はじめスタッフの方たちが、父の話に耳を傾けてくださいました。父のそれまでの人生を大切にしてくださいました。父の表情がどんどん明るくなりました。そうしてほつとした家族に、担当医は「ご自宅に帰れるようにがんばりましょう」と話した。

不安と戸惑いのできことだったという。「家に帰れるということ自体、考えていなかったことでしたし、重症の患者である父を家族が世話できるのかという不安がありました。」(Tさん)

とても喜びまして、その父の様子を見た私たちも、「このまま、病院に帰したくないね」という気持ちになりました。」(Tさん)

「このまま自宅にいたい」という本人と家族の連絡を受けて、担当医が自宅に行き点滴を行った。こうして、在宅療養がスタート。在宅中は、もともとかかりつけ医だった近所のS医師が主治医となった。

「S先生は週に一回往診してくださり、いつも丁寧な診てくださいました。家族の相談にも乗ってくださいました。また東金病院の先生も『少しでも心配だつたら、すぐ連絡をしてください』とおっしゃってくださいました。いざというときはすぐに対応してもらえると安心感、私たちの支えになりました。」(Tさん)



在宅療養中、不安なことはなかつたのだろうか？

「退院する前は、家族だけが大変な思いをすることになる、やりとおせるだろうか、という不安がありました。訪問看護ステーション、ケアマネージャー、介護ステーション、訪問入浴サービスのスタッフと家族とで打ち合わせをし、不安なことやわからないことはその都度専門の方に教えていただきました。看護師や医師でなくてはできない医療行為の一手前のところまで、かなり詳しく教えていただきました。」(Ｔさん)

それでもアクシデントはあった。

「一度、点滴を取り替える時間に家族がついとうとして、管の中に空気が入ってしまったことがあったんです。スタッフの方が、

地域医療を育てる会

「CLOVER(クローバー)」

第四号

すぐ駆けつけてくださいました。そして対処法を教えてくださいました。家に、家の者が眠くなる時間帯に薬が切れないように、薬の量を調節してくださいました。」(Ｔさん)

そして桜の花が見られるかどうかと危ぶまれていたお父様は桜の咲くころに再入院することができた。

「病院から自宅へ向かうケアタクシーの中で、『父に桜を見せてあげたいな』と思っていました。東金病院の医師とケアマネージャーさんが、運転手さんにお願ひしてくださり、人ごみのない、桜の美しいところを回っていただきました。」(Ｔさん)

「東金病院に入院するまでは、末期の病人が自宅で療養できるようなネット

ワークが東金地区にあるなんて知りませんでした。父のことで、ケアマネージャーまたはかかりつけ医にお話したことは、病院で再度説明する必要はありませんでした。情報がきちんと伝わっていると感じました。訪問入浴の方、ヘルパーさん、出会う人々が皆、父を一人の人間としてみて、接してくださいましたことにとても感謝しています。」と話すＴさんの表情はとても穏やかで、明るかった。

東金病院の在宅療養支援とは？

わかしおネットワーク 病院と診療所、薬局、訪問看護ステーション、保健センターなどを最新のITを用いた電子カルテネットワークでつなぎ、患者の医療情報を共有・活用することができるシステム
ヒューマンネットワーク
在宅療養で、医療度の高いケースや急変が予想される

ケースについては、在宅療養にむけた退院の前に、家族を初めとして関係者が一堂に会して合同カンファレンスを行う。

カンファレンスに参加するのは、介護者(本人の家族など)、病院内のスタッフ(全治医、病棟看護師、外来看護師、地域医療連携室担当看護師、薬剤師、医事課ソーシャルワーカー) 地域の在宅支援スタッフ診療所、保険薬局、ケアマネージャー、訪問看護師、ヘルパー、医療機器業者)。このカンファレンスにより、スタッフのコミュニケーションが円滑になり、患者や介護者の不安が軽くなり退院・再入院がスムーズにできるようになった。

イベントのお知らせ

「時代のふくしを考える」
セミナー1

実践者が紐解く!

『地域密着型サービスの視点とあり方』

日時
平成十七年九月十九日
(月)
午後一時から
四時四十五分

会場
東金文化会館
小ホール

参加費
東金市内 千円
東金市外 三千円

お問い合わせ先
時代のふくしを考えるセミナー実行委員会事務局
電話

〇四七五五四〇二八五

地域医療を育てる会
活動予定

定例会(原則毎月第三月曜)

9月19日(祝)
午後2時から4時
10月17日(月)
午後7時から9時

懇談会(随時)

10月22日(土)
午前10時から12時

テーマ(仮)
「地域医療と福祉」

いずれも会場は
東金市ふれあいセンター